

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
全体	1	堤防かさ上げの必要性及び堤防の嵩上げ高について	
		・この区間が上がらないと、市内が浸かってしまうので大事なこと	・白川における大甲橋～明午橋間（通称「緑の区間」）は、現況の堤防高が上下流に比べて低い区間となっています。 近年の豪雨災害をきっかけに、緑の区間沿川の3校区（白川、碩台、城東）等より堤防かさ上げに関する要望もあったことから、整備に関し検討を実施しています。 堤防かさ上げにあたっては堤防高を上下流に合わせた高さにすることとし、白川水系河川整備計画（R2.1変更）に基づき、代継橋地点での流量2,400m ³ /sが安全に流下できる河道（年超過確率1/60規模の洪水）を目標に実施します。
		・壁を作る以外に、川底を深くする。あるいは新屋敷側の支流の川底を深くして遊水地代わりにして、白川本流の水位を低くするようなこともできないのでしょうか？	
		・白川小学校側に壁を作る案がありますが、できれば川沿いの石垣の上に延長することで川側に壁を作ることができないでしょうか？道路側から見た景観、防犯、及び遊歩道側との行き来の問題が解決できません。ただし、一部大木にかかる部分もありますが、そこはうまくかわす工法が取ればと思います	
		・1～1.5m上げている。いつ時点の計画雨量なのか（立野ダム最近雨量）	
		・遊歩道側の空間も洪水時の遊水地代わりにする予定であれば、その分壁の高さを増しても良いように思います。※明午橋から上流側への接続も考慮が必要ですが（現在遊歩道工事予定の部分）	
		・堤防を上げることは仕方ないと思うが、そもそもどうして上下流に比べて低くなっているか、今のタイミングで上げるのか疑問である	
・今まで国交省でされた工事内容等、住民としては見えてない部分もあるため行政不信感はある。計画的に整備してないのではないか、今回の緑の区間整備も今後どうなるか分からない。景観等を考えるとできれば上げて欲しくない気もある			
			など

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方	
全体	2	堤防かさ上げ形式について		
		・安心・安全第一で、万が一水が溢れたときのことも考えて対策をお願いします	・緑の区間の堤防かさ上げは、熊本市中心部を守る重要な事業であり、将来にわたり確実に洪水を防ぐものでなければならぬと考えています。耐久性や維持管理等に優れた、堤防形式（コンクリート）をかさ上げる対策を実施する案としています。	
		・堤防が頑丈そうなのは良かった		
		・堤防嵩上げるより他の案はないか。例えば通路を上げる必要がないように堤防をアクリルにするかどうか、京都の桂川のように可動式の堤防にすることはできないか。そういった案を比較してもらいたい。		
	・京都の桂川のような可動式の堤防は検討したのか。できないならその理由を			
				など
	3	白川「緑の区間」整備素案について		・堤防かさ上げの整備コンセプトとして、以下の基本テーマと基本方針を設定しており、沿川自治会（白川校区、碩台校区、城東校区）の地元代表者、河川利用関係者、有識者等から構成される整備検討会を立ちあげ、維持管理、景観、利活用等に資する整備計画を検討しています。 【基本テーマ】まちとのつながりを感じられる安心・安全な「水と緑の拠点」の保全・創出に向けて、あらゆる関係者が一体となって取組み、更なる地域防災力の向上を目指す。 【基本方針】①いまある景観の継承、②川とのつながりの保全、③周辺との一体整備、④安全性・防犯性の確保、⑤地域による利活用・運用
		・市街部の中を流れる貴重な川。自然を大事にして欲しい		
		・普段から川とふれあえるようにする。川に入りやすい、川を意識しやすいようにすることで、洪水に敏感になり、防災に繋がる		
		・イベントができて、木があり、歩きやすい環境を		
・地域を守る+地域の価値が上がる場所になるのでは				
・現在の景観を気に入って購入した。景観が変わること等で資産価値が落ちるのではないかと				
・いつ頃に出来るのか？	堤防のかさ上げ整備については、予算の状況等もあるため、着手時期及び完成時期は未定ですが、できるだけ早く整備に着手できるよう努めて参ります。			
・工事中は通れなくなるのであれば、その期間を知りたい				
・色々な情報を広報するべき。一般の住民は検討会とか知らない。回覧板も回っていない	・整備素案の概要を整理したチラシ等について、令和3年9月30日より沿川3校区自治会（白川校区、碩台校区、城東校区）を通じて情報提供をして頂いていると認識しております。その他、緑の区間現地での概要看板の掲示や聞き取り調査、熊本河川国道事務所HPへの資料掲載を行い、広く一般利用者の方々からの意見を聴取しました。			
・チラシ配布などの広報不足				
			など	

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
全体	4	堤防沿いの管理用通路のかさ上げについて	
		<ul style="list-style-type: none"> ・今のよう景色が見えるようにしてほしい ・川が見えるように歩道を上げるとのことだが、普段住んでいる人の生活が優先ではないか。 ・緑地から小学校側が見えなくなるのは残念。でも、川が見えるならOK 	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防のみをかさ上げすると、管理用通路沿いに現況より最大約1.6mの堤防をかさ上げすることとなり、洪水時の河川巡視や水防活動の実施が困難となること、また、平常時の川への眺望の阻害が懸念されます。そのため、堤防沿いの管理用通路も一体的にかさ上げし、通路からの堤防高を1.1m程度とすることで、円滑な河川巡視や水防活動の実施及び川への眺望を確保する案としています。
			など
	5	整備で影響のある樹木について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・散策路（管理用通路）に植栽樹を整備する等のミティゲーション（代替措置）が必要 ・現在の景観が気に入っている。整備後の桜の木や樹木がどうなるか気になる。前回整備した際は桜は生かすとの話だったが、整備後は小さくなったり元気がなくなっている。 ・堤防の嵩上げは地元が望んでいるのなら仕方ない。鶴田さんが私財を投げうって植えた川側の木が残るなら反対しない ・木をパラベットに取り込むなど、工夫して残せないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の堤防かさ上げについては、既設の堤防及び管理用通路をかさ上げる案としているため、川側の樹木への影響は小さいと考えます。ただし、支障となる樹木については極力移植等を行い保全したいと考えています。また、工事の施工上及びかさ上げ後の通行の支障となる枝については、樹木への影響が小さい方法で剪定します。なお樹木の移植、剪定等については専門家の指導のもと実施する予定です。
			など
		まち側から川側へのアクセスについて	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・坂路や階段は今と同じように使えるようにしてほしい ・子ども、年配の方も安全な通行ができるようにしてほしい ・右岸側のマンション上流の階段は、嵩上げ後は階段延長が伸びて車道に近くなり危険なので、階段の向きを川と平行に近づけたり、折り返したり工夫が必要 ・川辺へのアクセスはどうなるのか ・ますます水辺が遠くなり住民の川に対する気持ちが薄らぐのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・かさ上げ後の階段・坂路は、基本的に現況の位置でかさ上げすることを基本とし、川側へのアクセスを確保します。 ・まち側の歩道等と管理用通路の比高差が高くなる分、階段の段数が増えたり坂路の延長が長くなりますが、現況程度の勾配を極力守る案としています。 ・階段の構造を検討し、車道と管理用通路の離隔を確保する案としています。 ・今回の整備は堤防と管理用通路のかさ上げであるため、川側の遊歩道から水辺に下りる既設の階段については現況からの変更はありません。 ・緑の区間では現在、白川夜市等の河川空間を利用したイベントが行われており、今回においても利活用で配慮した案としています。
			など

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
全体	7	陸開部の整備について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス性、イベント時の搬入路、バリアフリー対応の観点から、白川小前の坂路開口部等を陸開にするのがよいのでは ・白川小学校前等、バリアフリー対応の緩やかなスロープが必要 ・搬入・通行の利便性向上のため、大三角広場箇所の陸開幅はできるだけ広くする ・陸開の管理・開閉は誰がする？国→市→地元へ委託するのであれば消防団（開閉のみ）も入れて話し合いが必要 ・陸開の操作について地元の消防団や白川バンクと議論している。現在でも出水時は消防団が出勤して川の様子を確認しており、その一環でやることになるのだと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・現況の左岸白川小学校前の坂路は、バリアフリー基準の勾配（5%）となっている他、イベント・維持管理時の車両進入路としても利用されています。坂路の出入口を陸開（洪水時のみ手動で閉めるゲート）とすることで、現況の坂路勾配を確保する案としています。 ・同じくイベント時等の車両進入路として利用されている左岸トイレ上流広場にも陸開を設け、アクセスや利活用に配慮する案としています。 ・なお陸開の操作等については、今後調整を進めています。
			など
		イベント利活用等への配慮について	
		8	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントは今のようになれるよう配慮してほしい ・左岸側パラベットのところに段差を設けて座れるようにしたら ・壁を凸凹させてベンチにする等、色々な工夫を考える ・長いベンチではなく、スツールのようなものも考える（ホームレス対策）
			など

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
全体	9	パラベットのデザインについて	
		・ 圧迫感を抑える対策が必要	・ かさ上げ後の堤防は、高さ1.1mで整備することにより転落防止も兼ねる構造としています。堤防が現況よりも高くなることにより、川側との比高差が大きくなるため、堤防に人が上って落下した場合の危険性が高くなることから、今回、コンクリート堤防の構造上必要厚40cmで整備し、天端に一部傾斜を設けることにより人が堤防に上りづらい形状とする案としています。（現況のコンクリート堤防の厚さは約60cm）
		・ 堤防（パラベット）に上れないような形状（尖っている等）で整備できないか。	
		・ 左岸壁面から可動式のベンチが出てくるデザイン	
		・ 現在歩道が狭くなっているが今回の整備によって現状より広くなるのであれば問題無い	
		・ 落書き対策として、ペイントを消しやすい壁にしてはどうか。	
	・ 既存部との継ぎ目が目立つと思うが、あえてデザインに活かせないか？（嵩上げしたことを示すようなデザイン）		
	・ 川表側の壁面は素材に変化をつけてはどうか	・ 現況のコンクリート堤防厚さ（約60cm）から、構造上のコンクリート堤防必要厚40cmに整備することにより生じた段差を利用者が腰掛けるものに活用することが可能となります。 ・ 今回は、現況の河川管理用通路幅を極力確保できるような案としています。	
	・ かさ上げ後の堤防側面部のデザインは、整備コンセプトの基本方針である「いまある景観の継承」の観点から、既存堤防のデザインを踏襲したいと考えています。	・ 既存部との継ぎ目については、継ぎ目のラインが目立たないよう工夫します。	
	・ 既存部との継ぎ目が目立つと思うが、あえてデザインに活かせないか？（嵩上げしたことを示すようなデザイン）		
・ 川表側の壁面は素材に変化をつけてはどうか	など		
10	防護柵のデザインについて		
	・ 防護柵は現在のような細い部材で落ち着いた色合いのデザインがよい	・ ご意見を踏まえて、参考とさせていただきます。	
			など

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
全体	11	照明について	
		・ パラベットの嵩上げによって、川側もまち側も暗くなり防犯面が懸念される	河川整備として防犯カメラを設置することはできませんが、照明については管理者である熊本市等と調整して参ります。
		・ 照明は付けて欲しいが、明る過ぎない方がよい	
		・ 照明は1Lx・3Lxを目標に整備して終わりではなく、整備後に全体の光環境を検証することが重要。「もっと暗くてもいい」とか、「もっと明るい方がいい」とかあると思う	
		・ 照明について、木の間に照明があると光が遮断されて暗いので整備する際は考えて頂きたい	
		・ 夜、女性も安心して歩けるように左岸の川表側に照明が欲しい	
		・ 防犯面でいうと、照明を設置するのであれば防犯カメラも併せて設置してほしい	
		・ 橋のライティングも一緒に検討してほしい	
・ パラベット自体を照らす。対岸からの眺めを意識	など		

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
全体	12	緑地の維持管理について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・パラペット沿いや川の中も含めてを定期的に除草してほしい。また、元気のない木は倒木・落枝が危ないため剪定するなど、きちんと管理してほしい ・左岸側は定期的に草刈りをされているようだが、右岸側は草が生い茂っている。左右岸で管理の差が激しいのではないかと ・左岸は白川バンクで草刈りをしている。若い人も多く、仕組みがしっかりできている。今後は、左岸側も含めて川全体で維持管理の仕組みづくりが必要 ・国と市の除草タイミング・回数について要調整 ・春と秋に地元のボランティア（高齢）が除草活動をしている。その活動が危険にならないようにする ・特にマンションより上流側は定期的な除草が必要。昔ヘビが出た。除草できないなら生えないようにコンクリートなどで固めて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の維持管理方法については、公園管理者及び通路管理者である熊本市と調整して参ります。
			など
	13	車道と管理用通路が隣接する区間の安全対策について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・車やバイクの事故が増えそう ・柵は必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・左右岸ともに通路と車道が近接する区間は必要に応じて転落防止柵を通路の車道側端部に設置します。柵の高さは、自転車の転落に対しても安全な高さである1.1mとします。
		<ul style="list-style-type: none"> ・修景対策については、緑地帯の維持管理（草刈り）方法もセットで考える必要がある ・低木植栽より石積みの方が維持管理面で良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち側から見た管理用通路壁面の圧迫感低減対策として、通路壁面を石積みで整備する案としています。
			など

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
右岸側	14	右岸川側の緑地について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・川側小段の幅が狭くなっている箇所は通行が危険 ・小段幅が狭い区間は閉め切って立ち入らせないようにする。乗越し階段もその区間には設置しない ・現在の案での右岸の立入禁止範囲はメルパルク～マンションまでになっているが、上流側のお地藏さんの所あたりまで伸ばした方がいいのではないかと ・草のところが歩けないのは寂しい。土の上を歩きたい ・右岸の川表側は立ち入り禁止にした方がよい。水際への階段は残してほしい ・明午橋まで川のそばの方を歩きたい。（土のところを）。川のそばを歩けるように整備をお願いしたい ・立ち入り禁止とする区間は事務局提案の区間でよいが、通行止めの方法は簡単に人が入れないような方法を考える必要がある ・通行可能でも不可でも対応可能なように、左岸側と同様の自然に近い舗装とする ・右岸川表側の立ち入り禁止区間にはコスモスを植えたら？維持管理に手間かからない ・「見て楽しむ区間」の維持管理は誰がやるのか。市？地元？しっかりとしたルール化が必要 ・右岸緑地は嵩上げ完成後でないとうするべきか分からない（階段は後付け？） 	<ul style="list-style-type: none"> ・右岸側の堤防より川側には緑地帯が広がっていますが、メルパルク駐車場前～マンション前区間は川側緑地帯の幅が狭く、堤防の圧迫感が大きくなるため、管理用通路から緑地帯を「見て楽しむ区間」とする案としています。 ・右岸川側については、大甲橋上流側やマンション付近～明午橋下流付近は堤防かさ上げ後も立ち入ることができる案とし、川側の遊歩道から水辺に下りる既設の階段については現況からの変更はありません。 ・「見て楽しむ区間」上下流端の閉め切り方法等については今後検討したいと考えています。
	15	右岸メルパルク駐車場との隣接区間について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場と散策路を一体的に整備してイベント利用（BBQ等）ができるスペースにできないか ・暗渠化してフタをかければ使い勝手もよくなるし、維持管理も楽になる ・メルパルク前の区間は暗くて怖いので、車道側を歩いている ・足元がよく見えるようにする必要もあるが、通常の街灯タイプも設置して明るくすることはできないか？ ・メルパルク前の区間について、高い照明はマンションの方や樹木への影響が懸念される。今と同様に足下をきちんと照らす照明がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・メルパルク駐車場と管理用通路間の整備については、メルパルクと調整して参ります。 ・管理者である熊本市と調整して参ります。
			など

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
右岸側	16	右岸マンション等との隣接区間について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの●階に住む者です。歩道の嵩上げは、マンションへの不法侵入を容易にすると考えます。住人の立場からすると、安全が担保されず、不安となります。マンション前の道路の嵩上げには、賛成しかねます。ご検討の程よろしく申し上げます 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理用通路のかさ上げについては、沿川の家屋及びマンションの方々を個別に調整させていただきます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・嵩上げを行った場合、川側の歩道と当マンションの1階との高さに差が生じると思われます。歩道との間に侵入防止用の柵を設置していますが、嵩上げされた場合には簡単に柵を乗り越えられるため、防犯上の問題が生じる可能性があります 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・フェンスを上げるとなるとどちらが負担するのか。目隠しフェンスのようにすると駐車場が真っ暗になってしまう。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が半地下になり、歩道からの石や埃が駐車場に入る恐れがある。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・現在マンションの●階に住んでいるが、歩道を上げた時の視線がどうなるか気になる。また、パラペットに上った時の視線についても検証していただきたい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・歩道側から雨水が流れ込むことが無いかなど別の懸念点もあります。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・坂路部にマンションへの光をとる窓があるため、そこは遮断してほしくない。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・歩道からマンションに入るスロープはどうなるのか。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・照明について、今のフットライトでは暗いが、ポール照明はマンションの人が嫌がるかも。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・現状で、照度が足りないのでは。昔は樹木を照らす目的だと思うが、パラペットより川側の位置にライトがあった。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・照明を設置する場合は、マンション側から通路を照らす等、マンションの住環境に配慮する必要がある 			
			など

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
右岸側	17	右岸T字交差点部について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・壁が高くなる箇所は落書きがしやすくなると思われる。そうであれば積極的に絵を描くことで「ギャラリーパラペット」のような活用方法を示してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・右岸T字交差点部の堤防側面利活用方法は、今後検討したいと考えています。
		<ul style="list-style-type: none"> ・壁が高い箇所は洪水情報をリアルタイムで掲示する等、川の状況が分かる場所として活用する 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・パラペットの見え高が高い区間の壁面の利用方法については、児童の絵を飾る（定期的に入れ替え）等、地域や小学校等との仕組みづくりとセットで考える必要がある。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・車からゴミを捨てる人がいて迷惑だから、整備のついでにゴミ捨て場の場所を移してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションは若干の場所の移動はあるものの、基本的に原位置のままの案としています。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は散策路側からゴミ捨てや分別を行っている（車道側からは危険）。散策路嵩上げ後も同じようにゴミ捨てできるような設計がよい 			
			など

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
右岸側	18	明午橋右岸橋詰広場について	
		<ul style="list-style-type: none"> 桜の花見を地元でやっていた。桜に愛着がある（桜のトンネル）。右岸上流の地元民は鶴田さんの想いを大事にしている 	<ul style="list-style-type: none"> 明午橋右岸橋詰広場は、まちと川が緩やかにつながる階段広場として整備しますが、付近はかつて「鶴田公園」と呼ばれていたことも踏まえ、サクラ等を植栽する案としています。 また、坂路・階段を利用して川表側緑地までアクセスすることができる案としています。
		<ul style="list-style-type: none"> 樹木は鶴田さんが植木店で余った木を植えたもの。それを切る計画だったから昔反対していた経緯があった。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 明午橋右岸下流のお地藏さんは、明午橋の下にあったお地藏さんを移設したものの。元々は昭和28年の洪水等で上から流れてきたもの。ずっと近所で掃除をしている。元々は鶴田さんがしていた 	<ul style="list-style-type: none"> 緑の区間整備後の運用に関するご意見については、公園管理者である熊本市に情報提供します。
		<ul style="list-style-type: none"> 地元の方の意見も重要であるが、広い空間を取れそうな箇所はスケボー等の広々とした利用ができる場としての活用も考えられるのでは 	
		<ul style="list-style-type: none"> 明午橋橋詰にトイレが欲しい（公園と言うのなら…） 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の河川整備の中で新たにトイレは設置しません。
<ul style="list-style-type: none"> 夏目漱石の句碑、歴史的経緯から明午橋右岸に設置するのはピンとこない 	<ul style="list-style-type: none"> 夏目漱石の句碑の配置は、今後検討したいと考えています。 		
など			

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
左岸側	19	左岸白川小学校前について	
		<ul style="list-style-type: none"> 散策路（管理用通路）のみ嵩上げすると、歩道（熊本市）との間に段差ができて危ない 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車と歩行者の安全な動線分離のため、道路管理者である熊本市と調整の上、車道側の自転車専用通行帯整備（将来計画）に必要な幅1.5mを除き、残りの歩道・通路を一体かさ上げて歩行者用の通路として整備する案としています。
		<ul style="list-style-type: none"> 歩道の一部を散策路と一体的に嵩上げ、もしくは法面にす等して、安全な自転車・歩行者分離を行う 	
		<ul style="list-style-type: none"> 車道側に自転車専用通行帯を1.5m幅程度設ける計画となっているが、現在の自転車の通行量を考えると狭いと感ずる。特に電柱が残る箇所はデッドゾーンになる心配がある。現在の歩道分は嵩上げせずに（管理用通路のみ嵩上げ）、そこを自転車も歩行者も通行できるようにしてはどうか 	
		<ul style="list-style-type: none"> 小学校の車の送迎がしやすいように、嵩上げする歩道を狭くして車道を広げては？ 	
	<ul style="list-style-type: none"> 緑の区間の歩道側には、白川小や塾の送迎車が駐車しており、通行しにくい。そこを街中駐輪場にしたら良い。 		
<ul style="list-style-type: none"> テラススペースと横断歩道が近いと子供が飛び出して危ないのでは 	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道付近については、安全で快適な利用動線に配慮した階段・坂路の配置とし、樹木周りを緩やかな勾配の緑地帯にすることにより、見通しを確保する案としています。 		
など			
	20	左岸トイレ周辺について	
		<ul style="list-style-type: none"> トイレのために歩道を嵩上げしない区間があるとのことだが、トイレを撤去再設置すればいいのでは 	<ul style="list-style-type: none"> トイレがある区間の管理用通路については、現況の高さとし、通行時のパリアフリーに配慮した案としています。
<ul style="list-style-type: none"> 左岸側はトイレがあるから便利 			
など			

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方	
左岸側	21	左岸上流側について		
		・左岸上流側は近接する居住エリアの方との対話が重要である	<ul style="list-style-type: none"> ・左岸上流側の管理用通路は、堤防高を80cmとする案を検討していました。しかし、皆様のご意見を踏まえ、他の区間と同様に通路からの壁高を110cmとする案としています。 	
		・小学生の通学路の堤防高80cmについては、小学生が登れるのではないかと。80cmぐらいであれば飛び降りて遊ぶ子どももいる。小学生の川への眺望を確保したいのであればパラペットの上に柵を設置する等した方がよい		
		・パラペット高80cm区間については子どもの安全面から考えると飛び乗って危ないため、他と同様の高さに整備した方がよい		
		・W三角広場の間の道路幅員が狭いため、植栽を取って広げることができないか？		・植栽を撤去して管理用通路を広くする案としています。
		・W三角広場に設置する階段の位置が一番広い箇所に設置すればいいのではないかと。また、夜間通行する際に危なくないような処置をしてほしい		・ご意見を踏まえ、広場の幅が広がっている箇所に乗越階段を配置する案としています。
		・倉庫があるので目隠しになって助かっていることもある		<ul style="list-style-type: none"> ・該当の倉庫は、洪水時の水防活動や維持管理に必要な資機材の保管等に使用するため、かさ上げ後の管理用通路と同じ高さまで盤上げする案としています。
	・倉庫については、撤去してほしい			
			・現在倉庫が建っている箇所の川裏道路への動線がスムーズに行くよう考えて欲しい	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、倉庫の川裏道路への動線に取付階段を整備する案としています。
				など
22	明午橋左岸橋詰広場について			
	・明午橋左岸橋詰広場の取り付け部にスロープを設置されるのであれば手すりが必要では。	<ul style="list-style-type: none"> ・明午橋左岸橋詰広場の坂路は緩やかな勾配であることから、手すりの設置が必要ではないと考えていますが、整備後の状況に応じて検討したいと考えています。 		
	・車止めを道路に対して直角にして欲しい	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、管理用通路直交方向に車止めを設置する案としています。 		
			など	

白川「緑の区間」堤防かさ上げ整備に関する河川管理者の考え方

該当箇所	点番号	頂いたご意見の概要	河川管理者の考え方
その他	23	その他	
		<ul style="list-style-type: none"> ・水際の階段がないと川に近づきにくくなったり、洪水時の逃げ道が無くなったりするのは ・水際に下りる階段（右岸側）は踏み面が狭くてゴツゴツしていて不便。今回の整備で復旧する階段の踏み面は広く、フラットにしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・川側の遊歩道から水辺に下りる既設の階段については現況からの変更はありません。
		・緑の区間上下流含めたアクセス動線に考慮する（明午橋上流側は車いすの人たちが利用できる勾配の坂路がない点を明示する等）	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の整備案については、緑の区間（大甲橋～明午橋）の整備に関するものであるため、その他の箇所については対象外ですが、整備後の状況に応じて検討したいと考えています。
		・あらゆる関係者には、土木関係だけでなく、「消防」、「警察」、「市の防犯担当者」、「地区の防犯協会」等を含めることで、整備後の防犯に関する専門的な意見を伺うことが重要	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、各専門部署へのヒアリングを検討します。
		・大三角広場の坂路箇所の動線について、車乗り入れ部の歩道が高いので切り下げ、車両が入れるように考えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、道路管理者の熊本市と調整して参ります。
		・石碑をそのままにして周りだけを嵩上げすると、石碑の文字が読めなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ・右岸側の管理用通路沿いにある2つの石碑のかさ上げについては、所有者と調整して参ります。
		・戦争の歴史を受継ぐため、石碑を設置している地盤を通路と同じ高さまで上げる	
			など